

(別記)

令和5年度西脇市農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当地域は耕地面積の約9割が水田で、水稻を主体に麦、大豆等を中心に生産されてきた。しかしながら、農業経営は収益率の低い零細規模が主体であったため、周辺産業の発展とともに兼業化が進み、農作業の機械化に拍車をかけ、零細規模農家の農業経営を圧迫している。

さらに近年では鹿や猪などによる農作物への被害が拡大しており、鳥獣害対策が喫緊の課題である。

2 高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

市内直売所の来客数が増加するなど、地域振興作物を始めとする各作物の需要が拡大している中で、収益性が高く、地域の振興作物と位置付けている金ゴマ等の作付面積の拡大を図り、さらなるブランド化への取組を進める。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

現在の不作付地（約100ha）については、担い手への集積や集落ぐるみでの取組などにより解消を図る。水稻を組み入れない農地については、水田情報管理システム等を活用しながら作付体系を定期的に点検し、畑地化や営農組合等を活用したブロックローテーション体系の構築を検討していく。

4 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

前年の需要動向や集荷業者等の意向を勘案しつつ、米の生産を行う。

酒造好適米（山田錦）の主産地として、品質の管理を徹底するとともに、酒造会社等の需要を逃すことなく的確に対応し、将来にわたり安定して供給できる生産体制を構築する。

(2) 備蓄米

現在、取組んでいないが、需要動向に応じて、推進を図る。

(3) 非主食用米

ア 飼料用米

多収品種の導入や低コスト生産技術の導入によりコスト低減を図る。

イ 米粉用米

新たな販路を開拓し、作付面積の拡大を図る。

ウ 新市場開拓用米

新たな販路を開拓し、作付面積の拡大を図る。

エ WCS 用稲

現在、取組んでいないが、需要動向に応じて、推進を図る。

オ 加工用米

新たな販路を開拓し、作付面積の拡大を図る。

(4) 麦、大豆、飼料作物

排水対策、肥培管理、適期防除などの基本技術を徹底し、品質・収量の向上を図るとともに、団地化や担い手への土地の集積等により低コスト化を図る。

麦については、産地交付金を活用し、担い手へ集積し、作付面積の拡大を図る。

(5) そば、なたね

実需者との契約に応じて、推進を図る。

(6) 地力増進作物

地力増進に取り組み、環境に配慮した土づくりを行う。

(7) 高収益作物

地域の振興作物と位置づけている金ゴマ、加工用たまねぎ及び小豆について、産地交付金を活用し、作付面積の拡大を図る。

5 作物ごとの作付予定面積等 ~ **8 産地交付金の活用方法の明細**

別紙のとおり

※ 農業再生協議会の構成員一覧（会員名簿）を添付してください。

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和5年度の作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	717.6	0.0	698.7	0.0	700.0	0.0
備蓄米	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
飼料用米	5.4	0.0	6.0	0.0	6.0	0.0
米粉用米	0.6	0.0	1.0	0.0	1.0	0.0
新市場開拓用米	3.0	0.0	3.0	0.0	3.0	0.0
WCS用稲	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
加工用米	12.0	0.0	12.0	0.0	20.0	0.0
麦	49.4	0.0	52.0	0.0	55.0	0.0
大豆	0.7	0.0	1.0	0.0	1.0	0.0
飼料作物	4.4	0.0	5.0	0.0	6.0	0.0
・子実用とうもろこし	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
そば	0.0	0.0	0.5	0.5	0.5	0.5
なたね	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
地力増進作物	0.9	0.0	1.0	0.0	2.0	0.0
高収益作物	31.1	18.0	34.2	18.0	37.7	20.0
・野菜	10.9	0.0	13.5	0.0	11.2	0.0
・花き・花木	0.0	0.0	0.3	0.0	0.1	0.0
・果樹	0.2	0.0	0.4	0.0	0.4	0.0
・その他の高収益作物	20.0	18.0	20.0	18.0	26.0	20.0
その他	83.5	0.0	51.2	0.0	60.0	0.0
畑地化						

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	用途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	麦	担い手集積加算（戦略作物）Ⅰ	面積拡大	（4年度）49.4ha	（5年度）54ha
2	金ごま、加工用たまねぎ、小豆	基本助成（振興作物）Ⅰ	面積拡大	（4年度）1.9ha	（5年度）2.8ha
3	金ごま、加工用たまねぎ、小豆	基本助成（振興作物）Ⅰ（二毛作）	面積拡大	（4年度）1.3ha	（5年度）3.4ha
4	金ごま、加工用たまねぎ、小豆	担い手集積加算（振興作物）Ⅱ	面積拡大	（4年度）0.6ha	（5年度）1.4ha
5	金ごま、加工用たまねぎ、小豆	担い手集積加算（振興作物）Ⅱ（二毛作）	面積拡大	（4年度）0.7ha	（5年度）0.9ha
6	野菜、果樹、花き、その他作物等	基本助成（振興作物）Ⅱ	面積拡大	（4年度）12.6ha	（5年度）14ha
7	みつ源れんげ、藍	担い手集積加算（振興作物）Ⅰ	面積拡大	（4年度）7.2ha	（5年度）11ha
8	大豆	担い手集積加算（戦略作物）Ⅱ	面積拡大	（4年度）14.5ha	（5年度）29ha
9	たまねぎ、じゃがいも、にんじん、だいこん	給食用野菜出荷促進助成	面積拡大・出荷者数増加	（4年度）1.1ha 11名	（5年度）2.0ha 20名
10	みつ源れんげ	基本助成（振興作物）Ⅲ	面積拡大	（4年度）10.0ha	（5年度）14ha
11	麦、大豆、飼料作物、飼料用米、米粉用米、WCS用稲、加工用米、そば、なたね	二毛作助成（二毛作）	面積拡大	（4年度）18.0ha	（5年度）22ha
12	飼料作物、飼料用米、WCS用稲	耕畜連携助成（わら利用、水田放牧、資源循環）（耕畜連携）	面積拡大	（4年度）4.7ha	（5年度）2.7ha
13	加工用米	担い手加算（戦略作物）	面積拡大	（4年度）8.4ha	（5年度）14ha

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名:兵庫県

協議会名:西脇市農業再生協議会

整理番号	用途 ※1	作期等 ※2	単価 (円/10a)	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	担い手集積加算(戦略作物) I	1	20,000	麦	担い手に対して、作付面積に応じて支援
2	基本助成(振興作物) I	1	24,000	金ごま、加工用たまねぎ、小豆	作付面積に応じて支援
3	基本助成(振興作物) I (二毛作)	2	24,000	金ごま、加工用たまねぎ、小豆	作付面積に応じて支援
4	担い手集積加算(振興作物) II	1	34,000	金ごま、加工用たまねぎ、小豆	担い手に対して、作付面積に応じて支援
5	担い手集積加算(振興作物) II (二毛作)	2	34,000	金ごま、加工用たまねぎ、小豆	担い手に対して、作付面積に応じて支援
6	基本助成(振興作物) II	1	12,000	別紙のとおり	作付面積に応じて支援
7	担い手集積加算(振興作物) I	1	6,000	みつ源れんげ、藍	担い手に対して、作付面積に応じて支援
8	担い手集積加算(戦略作物) II	1	13,000	大豆	担い手に対して、作付面積に応じて支援
9	給食用野菜出荷促進助成	1	38,000	たまねぎ、じゃがいも、にんじん、だいこん、さつまいも	給食センターへの出荷量に応じて支援
10	基本助成(振興作物) III	1	10,000	みつ源れんげ	作付面積に応じて支援
11	二毛作助成(二毛作)	2	17,000	麦、大豆、飼料作物、飼料用米、米粉用米、WCS用稲、加工用米、そば、なたね	作付面積に応じて支援
12	耕畜連携助成(わら利用、水田放牧、資源循環)(耕畜連携)	3	14,000	飼料作物、飼料用米、WCS用稲	作付面積に応じて支援
13	担い手加算(戦略作物)	1	10,000	加工用米	担い手に対して、作付面積に応じて支援

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする用途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は用途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。
ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができます。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする用途は「1」、二毛作を対象とする用途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする用途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする用途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的な要件のうち取組要件等を記載して下さい。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。